

三菱自動車、軽商用車『ミニキャブ トラック』を一部改良

三菱自動車工業株式会社（本社：東京都港区、代表執行役社長兼最高経営責任者：加藤 隆雄、以下三菱自動車）は、軽商用車『ミニキャブ トラック』のフロントデザインの変更や、安全機能の強化を図るなど一部改良を施し、全国の系列販売会社を通じて2月5日（木）から販売を開始します。車両本体のメーカー希望小売価格は1,311,200円～1,677,500円（消費税10%込）。



ミニキャブ トラック「G」

『ミニキャブ トラック』は、広い荷台と低床設計により高い積載性と積み降ろしのしやすさを両立し、ゆとりある室内空間を確保しています。小回り性能や悪路走破性に優れ、積載時の安定性も高い軽商用車として、「G」「みのり」「M」の3グレードを展開しています。

1. 主な変更内容

(1) エクステリア

- ・フロントデザインを大幅に変更し、新デザインのLEDヘッドライトを全車標準装備するなど、併せて機能面も向上させました。
- ・「G」グレードでは、LEDフロントフォグランプとカラードフォグランプベゼルの採用など、質感を高めました。

(2) インテリア

- ・運転席のメーター表示をアナログからデジタルに変更し、走行中の視認性を向上させました。
- ・インストルメントパネルにスマートフォンなどを置くことができるセンタートレイや、紙パック飲料に対応した新形状のドリンクホルダー(運転席/助手席)等を設定し、利便性を高めました。

- ・「G」グレードにはType-AおよびType-CのUSB電源ソケットを設定し、利便性を高めました。

(3) 安全機能

- ・「三菱e-Assist」（運転支援機能）の機能強化として、ミリ波レーダーと単眼カメラの組み合わせにより、前方車両や歩行者、自転車^{*1}、自動二輪車^{*1}を検知し、交差点にも対応する衝突被害軽減ブレーキシステム（デュアルセンサブルーキサポートII）を全車標準装備。その他車線逸脱抑制機能、標識認識機能^{*2}、前後パーキングセンサー、先行車の発進や赤信号から青信号の切り替わりをお知らせする発進お知らせ機能、急ブレーキ時に後続車へ危険を伝えるエマージェンシーストップシグナルなどを採用しました。

*1：人が乗車している場合のみを作動対象としています。

*2：検知対象は一時停止、車両進入禁止、赤信号

(4) 機能装備

- ・ぬかるみ脱出アシストを「みのり」の5M/Tにも新たに採用し、デフロック機構との組み合わせで雪道やぬかるみなどでタイヤが空転した際に、駆動力を最適に制御し、スムーズな発進をサポートします。
- ・「G」グレードの電動格納式リモコンドアミラーにヒートド機能を追加し、視認性を向上させました。

2. メーカー希望小売価格

(リサイクル料金、保険料、消費税を除く税金、登録・届出等に伴う費用は含まれません)

グレード	エンジン	変速機	駆動方式	車両本体価格 (消費税10%込)	
M	DOHC 12バルブ VVT 3気筒	5M/T	2WD	1,311,200円	
			4WD	1,463,000円	
みのり		4A/T	2WD	1,388,200円	
			4WD	1,540,000円	
G		5M/T	4WD	1,499,300円	
		4A/T		1,576,300円	
		4A/T	4WD	1,677,500円	

<『ミニキャブ トラック』車種サイトはこちら>
https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/minicab_truck/

以 上